

新春春日部

発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話736-9933
FAX 736-9991

子育て世代に選ばれるまちに 「みんなの会」市長選スタート集会

10月17日告示、24日投票で執行される春日部市長選挙に向けて、7月10日(土)、市民文化会館で「市長選スタート集会」が開催されました。

「住みよい春日部をつくるみんなの会」(略称・みんなの会、松島捨夫代表世話人)



決意と政策を述べる角田たえ子さん

は、元小学校教師で武里・大場に在住の角田たえ子さんを擁立することを決定しました。10日は、「春日部市初の女性市長誕生」をめざして活動を開始する決意を固めあう集会となりました。

5団体の代表が要求と勝利に向け決意を表明

「みんなの会」は、住民が主人公の市政実現」をめざして1989年11月8日に結成され、労働組合や市民団体、日本共産党など14団体と個人が結集しています。スタート集会では、埼玉土



越谷の元教職員も角田たえ子さんを激励

建一般労組、埼玉東民主商工会、かすかべ生活と健康を守る会、市教職員組合、新日本婦人の会の代表が、それぞれの市政に対する要求と勝利に向けての決意を表明しました。

応援歌「咲かせよう タエコの花で」も披露されました。

女性管理職を増やし、ジェンダー平等の市政に

角田たえ子さんは、「武里地域で関わっている子ども食堂の活動のなかで、必死で生活しているシングルマザーや子どもたちと関りを通じて、

誰もが幸せに過ごせるよう政治を変えるために立候補を決意しました。温水市民プールなどのスポーツ・障害者入所施設などの建設、学校給食費2人目以降の無償化、保育料・給食費の負担軽減、請願が2回も採択されている住宅リフォーム助成制度を実施します。子育て世代に選ばれるまちをめざして、女性管理職を大幅に増やし女性の視点でジェンダー平等推進の市政を実現したい。」と政策と決意を語りました

春日部から「自民党政治ノ」の審判を

今年の市長選挙には、4名が立候補を表明しています。石川良三市長は自民党推薦です。市議会議員の二人は、これまで石川市長提案の議案にほとんど賛成するなど石川市政と同じ立場です。市民と野党の共闘で「自民党政治ノ」の審判を下しましょう。

コロナ禍で見えてきた脆弱な社会保障

第55回春日部母親大会記念講演

17日、第55回春日部母親大会が開催されました。コロナ禍で縮小して、午後の講演のみの開催となりました。

NPO法人医療制度研究会の本田宏さんが「コロナ禍で見えてきた脆弱な社会保障」
「どう改善すればいいのか、みんな考えてよう」をテーマに講演しました。以下に要旨を紹介します。

死者1万5千人 超東アジア最多

コロナ禍の中で、日本は政治の無策により、感染拡大を止められず、大阪などでは在宅での死者が20人を超え、必要な医療が受けられない、まさに医療崩壊の様相を呈しています。
一方でオリンピック開催に

固執し、飲食店や一般国民には「自粛」を呼びかけながら、オリンピック関係者にはこれまで進めてこなかったPCR検査の徹底など、「ダブルスタンダード」が顕著になっています。

日本の新型コロナウイルスによる死者数はすでに1万5千人を超えており、東アジアで最多です。にも関わらず、メディアは事実を伝えていません。伝えればオリンピック中止の世論がさらに高まることを恐れています。

医師不足・ 病床不足を進める

1980年代から現在までに保健所の数は半減し、感染症病床は8分の1に減らされました。



講演する本田宏さん

2018年12月31日時点での日本の医師数は32万7210人で2017年のOECDの平均と比較して約13万人も不足しています。

その結果、医師の4割が過労死ラインで働かざるを得ず、約1割は過労死ラインの2倍で働いている現状です。

こうした中で国はさらに2023年に医学部の定員削減を決定、高齢者の医療費2倍化・公的病院の統廃合など、国民の命をないがしろにする政治を続けています。

今年3月24日、衆議院厚生労働委員会の意見陳述で「医療崩壊を止める」立場から。

これらを指摘した本田さんは「取り上げたのはしんぶん赤旗だけでした」と話します。

伝え方の ひとつひねりを

政治を正すには、選挙に行く人を増やさなければなりません。

学生には、世界と比べても高すぎる学費や少なすぎる給付奨学金など具体的な話をして「政治を変えたいね」と伝えてみましょう。

考えさえない教育により、自己責任論で縛られた若者に、こうした事実を伝えると必ず3つの答えが帰ってくると思います。

- ①こんなに酷い国だとは知らなかった。
 - ②メディアアリテラシー（メディアの特性を理解して使いこなす複合的な能力）が低すぎる
 - ③必ず選挙に行きます
- 相手に合わせて、伝え方ひとつひねりが必要だと強調しました。

休日当番医

市立医療センターTEL 735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談#7119
 7月25日(日) ファミリークリニックまの(小児科系) 千間1-59-5 ☎736-5155 館浦整形外科医院(外科系)
 永沼2229-1 ☎746-4832 ほそや内科医院(内科系) 下大増新田261-5 ☎733-5200
 8月1日(日) グレース家庭医療クリニック(小児科系) 大倉610-10 ☎718-0107
 佐藤整形外科(小外科系) 大場1385-3 ☎731-4550 米島内科・眼科(内科系) 米島234 ☎747-1234